

Toyota Municipal Museum of Art Press Release

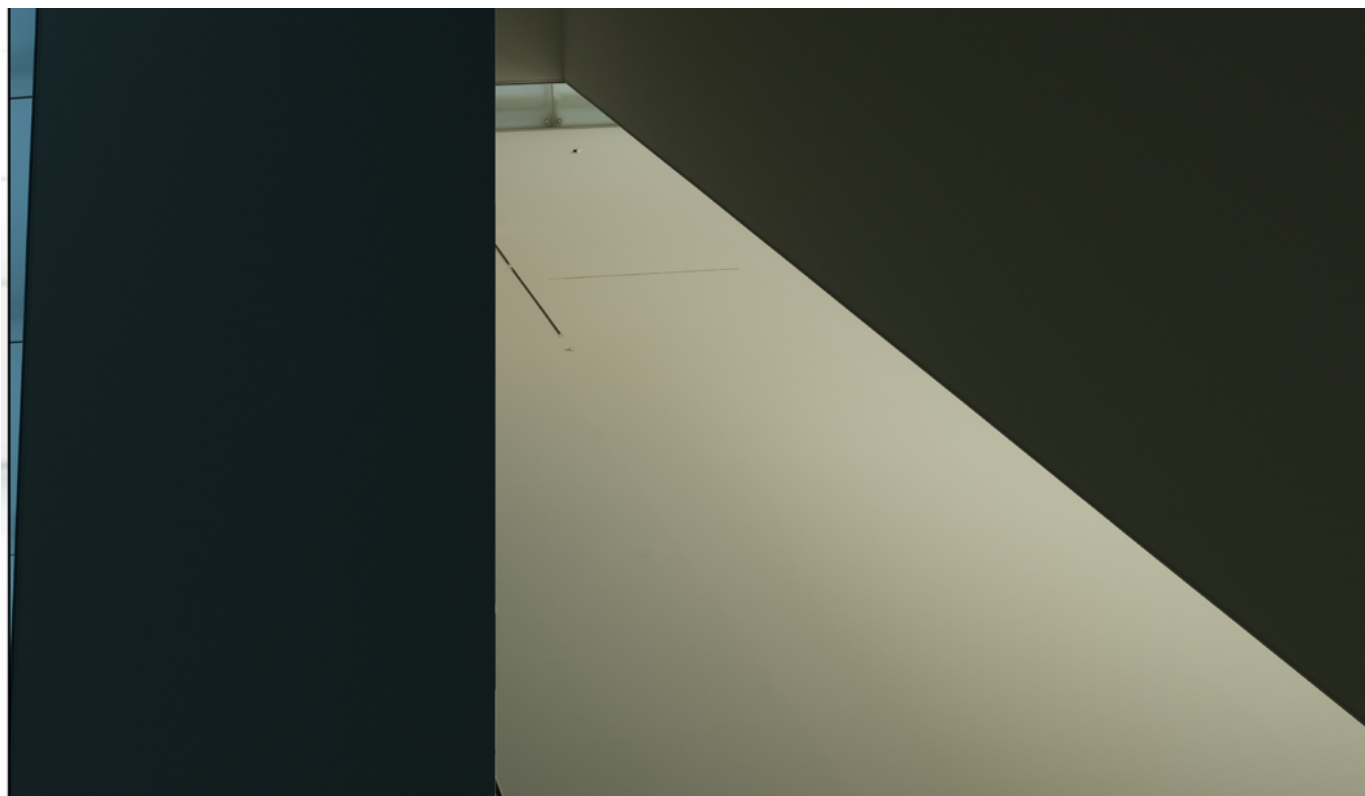
豊田市美術館 プレスリリース

2024.12.2



Toyota
Municipal
Museum
of Art

豊田市美術館



玉山拓郎：FLOOR

TAMAYAMA Takuro: FLOOR

2025年1月18日[土]ー5月18日[日]

開館時間： 午前10時ー午後5時30分(入場は午後5時まで)

休館日： 月曜日[2月24日、4月28日、5月5日は開館]

主催： 豊田市美術館

協賛協力： 特別協賛：株式会社ニューバランスジャパン 協賛：SOPH. CO.,LTD

特別協力：株式会社サンゲツ 機材協力：ソニー PCL株式会社 協力：ANOMALY

会場： 展示室1-5

観覧料： 一般 高校・大学生 中学生以下

当日窓口販売 1,200円 1,000円 無料 *前売券及び20名以上の団体は当日窓口料金から200円割引

オンライン販売 1,000円 800円 無料

お得なセット券を販売します(オンライン限定)

同時期に開催する「しないでおく、こと。」展と会期が重なる時期に使用できるセット券です。

一般2,200円、高校・大学生1,600円

*販売期間：2024年9月14日[土]ー2025年2月16日[日]

*有効期間：2025年1月18日[土]ー2月16日[日]

*その他、観覧料の減免対象者及び割引等については、当館ウェブサイトをご確認ください。

開催趣旨

玉山拓郎は絵画制作を出発点としながら、早くから立体的な造形や光、映像、音を組み合わせたインスタレーションを展開してきた、現在最も注目を集める作家の一人です。日常的に用いられる机や電球が大地や星々のようにも見えるなど、玉山の作品は内なる場（In-terior）と外界（ex-terior）の関係へと想像をひろげつつ、大小のスケールの振れ幅に両者の境界を問うてきました。とはいえ同時に、玉山の作品は明確な境界線を引くのではなく、異なるものが流通し、また衝突する不可分で動的な領域＝界面として現れます。

今回の展覧会で展示されるのは基本的にはただ一つのインスタレーションのみ。豊田市美術館の特徴的な展示空間に、建築とも、構造物とも、あるいは立体作品や彫刻ともつかない巨大な物体を貫入させます。日の光の移ろいによって刻々と変化する展示室に、ひとつのインスタレーションがさまざまなかたちであらわれる。日常的なスケール＝基準がいったん保留され、ずらされる、この未知なる領域（territory）において、わたしたちは空間と時間のなかでなにかを体験することそのものをあらためて見つめ直すことになるでしょう。

出展作家

玉山拓郎 | 1990 年、岐阜県多治見市生まれ | 愛知県立芸術大学、東京藝術大学大学院に学び、東京を拠点に活動する。



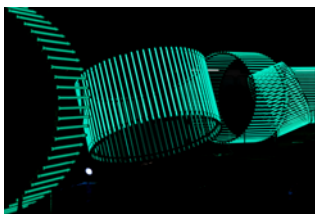
《Dirty Palace》2018
Calm and Punk Gallery(東京)



《Eclipse Dance》2020
「光について／光をととして」
(豊田市美術館)
Photo: Kei Murata



《Something Black》2022
「六本木クロッシング 2022」(森美術館)
Photo: Kohei Omachi (W)



《Static Lights: Tilt and Rotation》2022
「Sony Park: Kyoto」(京都新聞ビル B1)
Photo courtesy: Sony



玉山拓郎 +GROUP
《Locus》2023
「アートサイト名古屋城 2023」
Photo: Kohei Omachi (W)



《Spatial Inlay Structure: Triangular Trolley》2024
「黄金盛典藝術祭 - 夢十夜 Sleepless in Stone -」
(台湾)
Photo: Kohei Omachi (W)

*いずれも参考画像

展覧会のみどころ

－ この地域にゆかりの新進気鋭の作家、美術館での初個展

玉山拓郎は岐阜県多治見市出身で愛知県立芸術大学で学びました。その後東京に拠点を移し、近年では「六本木クロッシング 2022 展：往来・オーライ！」（森美術館、東京）への参加や「NACT VIEW 01」（2022 年、国立新美術館、東京）でのプロジェクト企画、街中でのサイト・スペシフィックな展示などでその都度斬新な新作を発表し注目を集めてきました。本展でもまた新作を、過去最大規模の作品として発表します。

－ 5 つの展示室にまたがるひとつの作品

谷口吉生による豊田市美術館の建築のなかでも、2-3 階の展示室はとりわけ特徴的な空間として知られています。今回の展覧会では 2-3 階に続く 5 つの展示室に、ひとつの作品を貫入させます。全面をカーペットに覆われたそれは彫刻とも、建築ともつかない、巨大な「なにか」。そこには展覧会に往々にして設定されている順路も物語もありません。日常的なスケールがずらされ、ただ空間と呼ぶほかない場所が生まれます。そこでわたしたちはなにかが生じていることそのもの、作品を経験することそのものを見つめ直すことになるでしょう。

－ 日の光の移ろいによって変わり続ける展示室

当館の 2-3 階の展示室はガラス壁や天井をとおして自然光の日の移ろいがはっきりと伝わります。本展ではそうしたガラス壁に少しだけ手を加えながら、スポットライトやシーリングライトをいっさい使わず、自然光のみで展示を構成します（1 カ所を除く）。1 月から始まり 5 月に終わる本展では、会期をとおして日が徐々に伸び、日差しが強くなっていきます。それにあわせて、展示室のようすも一日のうちにも刻々と、季節に合わせてゆっくりと移ろっていくでしょう。その時々であらわれるもの、受け取られるものもまた移ろう、「いま・ここ」での体験のための展覧会です。

－ 日没後の闇に沈む特別な時間

展覧会開幕から 1 月末までの 2 週間ほどは開館時間中に日が沈みます。閉館時間が近づくにつれて展示室はだんだんと暗くなり、作品もゆっくりと闇に溶け込んでいきます。非常灯などの限られた灯りに浮かび上がるまさしく非日常的な空間における、限られた期間のみに立ち現れる特別な体験。早目のご来館をつよくお勧めします。

お問合せ

豊田市美術館 〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1

HP: <https://www.museum.toyota.aichi.jp> e-mail: bijutsukan1@city.toyota.aichi.jp

●展覧会に関すること

学芸担当：鈴木

Tel 0565-34-3131

●掲載依頼・取材等に関すること 庶務担当：加藤、大柳(おおやなぎ)

Tel 0565-34-6748

玉山拓郎：FLOOR

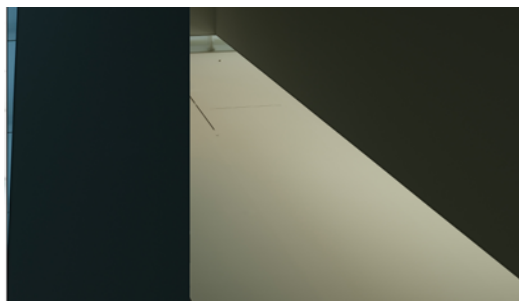
広報用画像について

当館ウェブサイト「広報用画像ダウンロード」申込みフォームより、ご希望の画像を申請してください。
「広報用画像ダウンロード」の画像提供サービスは、パソコンでのみダウンロード可能となります。
パソコンをお持ちでない方は、以下を記入のうえ、Faxでお送りください。

送り先：豊田市美術館 庶務担当 加藤、大柳（おおやなぎ）
Tel 0565-34-6748 Fax 0565-36-5103
e-mail: bijutsukan1@city.toyota.aichi.jp

お名前	様	ご所属
Tel		Fax
e-mail		必要な画像等の番号
掲載紙／メディア名		発売、放送予定日 月 日（月号、vol. ）
必要な鑑賞券枚数（最大5組10名分）	枚	鑑賞券の送付先

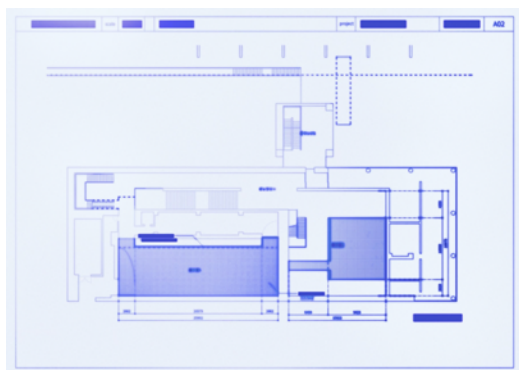
*読者プレゼントのため等、希望する場合のみご記入ください



1



2



3

1. MV01、2024 Photo: Kohei Omachi (W)
2. MV02、2024 Photo: Kohei Omachi (W)
3. 玉山拓郎《FLOORのプラン》2024

- ・キャプション、クレジットを必ず添えてください。
- ・作品写真のトリミング、文字のせはご遠慮ください。
- ・ご紹介いただく場合は、情報確認のためお手数ですがゲラ刷り等をお送りください。
- ・情報掲載後、献本または公開後の報告をお願いします。
- ・本展のご紹介での使用後は、各メディアの責任のもと画像データを削除破棄してください。